

## 瀬戸SOLAN小学校第1学年・学年通信



# 思考は現実化するのか

2023年もつつがなく明け、無事新年を迎えることが出来ました。  
みなさん、今年もどうぞよろしくお願い致します。  
約二週間あった冬休みで、十分に英気を養う事はできたでしょうか。  
休み中にも、コスモスハーモニーにお便りが届いています。  
その中から一通、紹介させていただきます。

プロジェクトの発表を見て子どもが入学してから本当に成長したな～としみじみ思いました。

プロジェクトと探求の授業が特に好きなようです。

学習面でも、うちの子は入学前に全く先取り学習をしていなかった（というか、させようとしたのですがさせられなかった）ので、1年生になってからすごい成長ぶりを見せています。

いろいろ自信がついたので冬休みの宿題も以前より前向きに取り組めるようになりました。

すべて先生方のおかげです。

一点だけ、キュビナの手書き入力の問題の時、うちの子の字が独特でなかなか iPad が読み取ってくれず、4 と書いたのに8と認識されたり、1+がH と認識されたり、答えがあっているのに機械に読み取ってもらうために何度も書き直したり、「これははみ出して書くと読み取ってもらえるんだ！」など謎の方法を編み出すに労力を使っている場合があります（笑）。計算練習はキーボード入力も選択できると、キュビナでは計算練習、紙で文字や数字の形を上手に書く練習などできるとありがたいなと思いました。

第4クォーターもどうぞよろしくお願いいたします。

お子さんの成長への喜びのメッセージを読ませてもらい、年始からとても

晴れやかな気持ちになりました。

以前に、「褒める」のもともとの意味は「素晴らしいことをともに喜び合う事」にあることを書きましたが、まさにそのような心境です。

ひらがなやカタカナを一字また一字と覚え、そろばんなどの具体物に触れながら抽象物である数字の世界に触れ、漢字や計算なども着実に上手になってきた姿が見られます。

その喜びをお家の方と共有できることは、教職に就く者にとって無上の喜びです。

誰かと比べる横のものさしを過度に使うのではなく、以前の自分と比べる縦のものさしを大切に扱いながら、最後のクォーターを進んでまいります。

そして、従来の学校教育の価値観には存在しなかったグローバルシチズンシップというゴールにも向けて、新たな学びを子どもたちと共に日々創造していきたいと思います。

素敵なメッセージ、誠にありがとうございました。

さて、年始のコスモスハーモニーに何を書こうかと思ったときに、冬休みの思い出がいくつか頭に浮かびました。

故郷北海道に帰った時のことや、休み中に会った方々とのエピソード、他にも本や映画の話題などなど。

例えば、年が明けてから読んだ本の一部はこちらです。



撮影した日付は5日となっていました。

このような形で、簡単に読書録を取る方法もおすすめです。

画像を見るだけで、それがトリガーとなって本の内容が浮かび上がってく

るようになるからです。

ちなみに、この6冊の中で最初に読んだ本、つまり2023年最初に読んだのが「無」という本でした。

特におすすめのタイトルは、「子どもを救う言葉・呪う言葉」です。

ちなみに、これらは全て人から勧められて購入した本です。

自分で買うのとは違い、誰かに勧めて買った本には意外な出会いや不思議な発見があることが多いものです。

最近、お家の方から勧めて買うことも増えてきて、2022の間にも色々な本との素晴らしい出会いがありました。

冬休み中などに読んだ本で、おすすめのものがありましたらぜひ気軽に教えてください。

## [1 学年通信「コスモスハーモニー」読者ページ \(google.com\)](#)

もちろん、本だけではなく絵や音楽や漫画や映画などの紹介も大歓迎です。例えば、現在映画が公開されて話題となっている漫画にスラムダンクという作品があります。

私の大好きな漫画の一つです。

出版業界でもここ最近、人気漫画の内容に関する考え方や実践方法をまとめた活字本がよく出版されるようになりました。

『スラムダンク勝利学』（辻秀一著）もその一冊です。

「漫画」と聞くだけで、どこかくだけたイメージがあるかもしれません。

が、著者は医学・心理学の専門家であり、中身も極めて具体的な実践が紹介されています。

この本で推奨しているのが、「有言実行」です。

特に強く書かれているのが、夢や目標を宣言しようということです。

その目標に根拠や自信が無くともいい。

たとえ大き過ぎる夢だとしてもかまわない。

宣言することで、目標に対する責任をとるという自覚が生まれ、それが努力と行動につながっていく。

そう著者は語っています。

「こんな仕事が見てみたい」も「こんな学校を作りたい」も「こんな未来を目指したい」も



同じなのだと思います。

思うだけでなく願うだけでなく、実際にそれを言葉にして宣言すると、不思議と多くの力が集まってきて夢や目標が実現しやすくなります。

そういえば数年前に、6年生向けの学級通信として次の内容を書いたことがあります。抜粋で紹介します。

「思いは伝わる」「願いは叶う」と思っている人は、意外に多い。  
しかし、これは大きな間違いである。  
思っているだけでは伝わらない。願っているだけでも叶わない。  
そんなことはない、思いは伝わるし願いは叶うものだ！と思うなら、一度実験してみるといいだろう。

例えば、朝一番、起きてからすぐにあなたがラーメンを食べたいと思ったとする。

ラーメンラーメンラーメン…。

心の中で、百回千回唱える。

もう心の中はラーメン一色である。

柔らかいチャーシュー、こってりとしたスープ、ツルツルとした麺。

その一つ一つをクリアに思い描きながら、近く中華料理屋さんまで歩いて行ったとする。

心の中で唱えたラーメンはすでに一万回を超えた。

人生でこれ以上ないくらい、ラーメンのことを思い描いた。

そして、お店に入り、その思いを最高潮まで高めた上で次のように注文してみよう。

「チャーハンをください。」

「思いは伝わる」「願いは叶う」のなら、ラーメンが出てくるはずだ。

これだけ強く、これだけ何度も思っているのだから。

しかし、お店から出てくる料理は100%チャーハンである。

疑う余地がない。

あなたが千回万回抱いた「思い」「願い」よりも、たった一度「言葉」にしたことの方がこの世界では遥かに重いのである。

これを、間違えている人は実は結構多い。

「もっと賢くなりたい」と思っているのに、「私なんて馬鹿だから…」と口にする。

本当は感謝しているのに、その思いは伝わるものと勘違いしてついつい荒い言葉を発してしまう。

その人の良いところだってちゃんとわかっているのに、「あの人ってちょっとこうだよ」と陰口をたたく。

本当は「やりたい！」と思っているのに、「僕には無理」が口癖になってしまっている。

これらは全部、ラーメンが食べたいのにチャーハンを注文しているのと同じである。

言葉にした世界が、そのまま具現化されていくことだろう。

なぜならば、思いや願いよりもはるかに大きな力を持った言葉通り、つまりはあなたの注文通りの世界が周りに作られていくからだ。

書く言葉、話す言葉。

我々が扱う言葉には、こうした不思議な力がある。

古くから日本では「言霊」といって、自分の出した言葉によって周りの状況や未来が大きく変わってくるといわれてきた。

「思考は現実化する」という言葉もあるが、それだけでは実は足りない。思考を言葉にして伝え、動き始めることで、初めて現実が作られていく。

「言葉は現実化する」するのである。

言葉にすることによって、責任が生まれ、行動が伴い、あなたに大きな成長や変革をもたらしていくのだろう。

今日、冬休みの話を聞いたところ、「初詣に行ったよ！」という子も多かったです。

そして、各クラスでどんな一年にしていきたいかという話もされました。

神社で手を合わせて思い描いた願い事も、年始に立てた目標も、それを実現に導くためには「言葉」の力を借りるのが良いのだと思います。

どんな言葉を使うかということが、どんな注文をするかということが、一年の在り方のカギを握っているように思うからです。

ある子は、「私はみんながニコニコしている一年にしたいから『ありがとう』っていう言葉をたくさん使いたい」という話をしていました。

なんて素敵な目標なんだろうと、胸打たれた瞬間でした。

神社での初詣の瞬間だけでなく、また年の初めに決意を新たにしている瞬間だけでなく、その目標を実現に導くために「言葉」の使い方にはこだわって過ごしていきたいと思います。

そうそう、その公開されている映画ですが、あまりにたくさんの方に勧められたので、昨日長久手のイオンに行って見してきました。

席は、なんと満員でした。

作品が完結してから 25 年も経つというのに、今も変わらぬ人気っぷり。

そして、内容も本当に素晴らしいものでした。

もしよければ、おすすめの映画や漫画なども教えて貰えると嬉しいです。

[1 学年通信「コスモスハーモニー」読者ページ \(google.com\)](https://www.google.com)

改めて本年もどうぞよろしくお願いいたします。(渡辺道治)

